

1年	算数科	4～1月	単元名『10までのかず』、『10より大きいかず』 『いくつといくつ』、『20より大きいかず』 1～34 / 34	
ねらい	身の回りの数量に関心をもち、数や量の概念の基本となる経験をする。			
活用場面	導入・展開・終末			
活用の仕方	絵本や図鑑等に出てくるものの数や量を捉え、表現する。			
参考図書	算数図鑑(7522) 算数なるほど大図鑑(7985) あたまのうえにリンゴがいくつ?(6155)			
活用分類	興味・関心喚起型	○	理解型 ○ 発展型	表現型

1年	算数科	5月, 10月	単元名『あわせていくつ・ふえるといくつ』 『たしざん』 1～26 / 26	
ねらい	・加法の意味について理解し、加法を用いることができる。 ・加法が用いられる場面を式に表したり、読み取ったりする。			
活用場面	導入・展開・終末			
活用の仕方	絵本や図鑑等に出てくるものについて、「あわせて」、「ぜんぶで」、「みんなで」、「ふえると」「くると」「もらうと」などの言葉を使って表現したり、計算したりする。			
参考図書	算数図鑑(7522) おおきなかぶ(5035)			
活用分類	興味・関心喚起型	○	理解型 ○ 発展型	表現型

1年	算数科	6月, 11月	単元名『のこりはいくつ・ちがいはいくつ』 『ひきざん』 1～27 / 27	
ねらい	・減法の意味を理解し、減法が用いられる場面について知る。 ・減法が用いられる場面を式に表したり、読み取ったりする。			
活用場面	導入・展開・終末			
活用の仕方	絵本や図鑑等に出てくるものについて、「ひくと」、「とると」、「へると」、「でていくと」、「たべると」、「～していないのは」、「のこりは」、「ちがいは」、「おいしい」、「すくない」、「どちらがいくつおいしい」、「どちらがいくつすくない」などの言葉を使って表現したり、計算したりする。			
参考図書	算数図鑑(7522) ぜったいひとつだからね(7504)			
活用分類	興味・関心喚起型	○	理解型 ○ 発展型	表現型

1年	算数科	7月	単元名『なんばんめかな』 1～2 / 2	
ねらい	ものの個数や順序を正しく数えたり、表したりする活動を通して、順序数と集合数の関連を理解する。			
活用場面	導入・展開・終末			
活用の仕方	絵本や図鑑等に出てくるものについて、「上から」、「下から」、「前から」、「後ろから」、「左から」、「右から」、「○番目」、「左から○つ」などの言葉を使って表現する。			
参考図書	算数図鑑(7522)			
活用分類	興味・関心喚起型		理解型 ○ 発展型	表現型

1年	算数科	7月	単元名『いくつあるかな』	1～2／2
ねらい	・ものの個数を絵や図などを用いて表したり，読み取ったりすることができる。			
活用場面	導入・展開			
活用の仕方	絵本や図鑑等に出てくるものの個数を読み取り，絵や図に表すことができる。			
参考図書	ぜんぶで100 (1150)			
活用分類	興味・関心喚起型		理解型	○
			発展型	
				表現型

1年	算数科	9月，2月	単元名『なんじ・なんじはん』 『なんじなんぷん』	1～6／6
ねらい	・日常生活の中で時刻を読むことができる。			
活用場面	導入・展開・終末			
活用の仕方	絵本や図鑑等に出てくる時計の時刻を長針と短針の動きや文字盤から「○時」，「○時○分」を読み取ったり，お話の中で出てくる一日の時間について意識したりする。			
参考図書	目で見えてわかる身近な単位 (7984)			
活用分類	興味・関心喚起型	○	理解型	
			発展型	
				表現型

1年	算数科	9月，3月	単元名『かたち』	1～8／8
ねらい	・身近な立体についての観察や構成などの活動を通して，図形についての理解の基礎となる経験を豊かにする。 ・ものの形を認めたり，形の特徴をとらえたりする。			
活用場面	導入・展開・終末			
活用の仕方	絵本や図鑑，工作の本などにおけるものの形について，はこの形，筒の形，ボールの形などから，①転がる，転がらない，積み上げられる ②写しとった形 ③並べた色板，色板をずらしたり，回したりしてできた形 ④棒を使ってできたいろいろな形 ⑤点と点をつないでできたいろいろな形など，形の特徴に気づきながら話したり，読んだりする。			
参考図書	(いろいろな資料，本，絵本，形の本，図鑑7，工作の本，英語の本「形」)			
活用分類	興味・関心喚起型		理解型	○
			発展型	
				表現型

1年	算数科	10月，12月	単元名『たしたりひいたりしてみよう』 『たすのかな ひくのかな』	1～9／9
ねらい	・3口の数をたしたり，ひいたりする計算を1つの式に表すことができ，計算することができる。 ・加法及び減法が用いられている場面を式に表したり，式を読み取ったりする。			
活用場面	導入・展開・終末			
活用の仕方	絵本や図鑑等に出てくるものについて，3口の計算になる問題場面を絵を見て考えたり，計算したりする。 合併場面，求残場面の文章題を読んで，たし算，ひき算のどちらを用いればよいかを考えたり，計算したりする。			
参考図書	(いろいろな資料，本，絵本，数の本，図鑑)			
活用分類	興味・関心喚起型		理解型	○
			発展型	
				表現型

1年	算数科	12月	単元名『くらべてみよう』	1～8／8				
ねらい	・大きさを比較するなどの活動を通して、量とその測定についての理解の基礎となる経験を豊かにする。							
活用場面	導入・展開・終末							
活用の仕方	絵本や図鑑等に出てくるいろいろなものの長さ・広さ・かさについて、どれくらいの量かを読み取ったり、それらの量を（①長い、短い ②広い、狭い ③多い、少ないなどの言葉を使って）比べたりしながら読む。							
参考図書	目でみる単位の図鑑（6674） 目で見てわかる身近な単位（7984）							
活用分類	興味・関心喚起型	○	理解型	○	発展型		表現型	

1年	算数科	3月	単元名『1年のまとめ』	1～4／4				
ねらい	・1年での既習事項のまとめをする。							
活用場面	導入・展開・終末							
活用の仕方	①ものの個数，数の大小 ②100までの数の順序，系列 ③ひも等の長さ ④形 ⑤時計 ⑥たし算，ひき算 ⑦問題作り ⑧3口の計算 について学習したことを，いろいろな本を読んで生活に役立てる。							
参考図書	100かいだてのいえ（7400）							
活用分類	興味・関心喚起型	○	理解型		発展型	○	表現型	

